

阿智村の教育を考える全村フォーラム 会議録

○会議日時 令和6年6月 29 日(土) 午後2時～4時

○会議場所 阿智村中央公民館 大ホール

○出席者【あり方検討委員】17 名

委員長: 岡庭 潤 副委員長: 伏木 久始 代田 昭久

委員: 熊谷 和洋 増田亜由美 熊谷 節子 井原 毅 田島 佳世
熊谷 安倫 熊谷 直哉 上條 雪絵 関 雅夫 原 耕
小笠原和司 逸見 貴子 井原穂奈美 佐々木哲志
(欠席) 近藤 忠雄 白澤 裕次 櫻井 朱

【教育委員会 事務局】7 名

教育長: 黒柳 紀春 教育次長: 川上 悟 学校教育係: 村田 浩一

学校教育専門主事: 松澤 徹(全体進行) 川上 清宏 佐々木 豊

英語教育専門員: 両角 明浩

【一般参加者】52 名(内傍聴のみ 5 名)

計 76 名参加

松澤専門主事

本日の進行を務めさせていただきます学校教育専門主事の松澤 徹です。本日の様子は、7 月下旬に阿智村ケーブルテレビで放映していただく予定です。また、本日参加できない方のために Zoom でのライブ配信をさせていただきます。ご参会の皆様にはご了承いただきますようお願いいたします。それでは、開会の言葉を川上悟教育次長が申しあげます。

1 開会の言葉(川上教育次長)

ただいまから、阿智村の教育を考える全村フォーラムを開催します。

2 教育長あいさつ

阿智村教育委員会の黒柳でございます。

本日は公私ともにご多用のところ、阿智村の教育を考える全村フォーラムにご参加いただき誠にありがとうございます。よろしくお願いいたします。

ご都合等で本日会場にお越しいただけない村民の皆さまにはオンラインによるフォーラムのライブ配信を行っておりますので、他の場所でご覧いただいている皆さまもおられるものと存じます。

さて、本日のフォーラムの目的でございますが、教育委員会が学校のあり方検討委員会にお願いした3つの諮問内容のうち、一番目の「今後の時代、社会を見据えた学校と地域の関係性について」と三番目の「これからの子どもたちに育むべき資質や能力について」検討を深めていただきたいと存じます。

先ず、卓越した教育理論や豊富な研究・実践、また教育行政に精通しておられる、学校のあり方検討委員会の副委員長の信州大学教育学部教授の伏木久始委員と前飯田市教育長で現在

未来地図代表理事の代田昭久委員のお二人による基調講演をしっかりとお聴きいただきたいと存じます。

その講演内容を参考にして、後半の分散会においては「阿智村の子どもたちに育みたい力」について活発に意見交換をしていただきたく存じます。来年3月の中間まとめ「教育ビジョン」に繋がる提言や方向性が示されることを期待しております。

とかく、教育につきましては、国民総教育評論家といわれるほど、お一人おひとりが教育熱心で一家言持っておられますが、その教育観や思いの多くは、自分が子どもの時に受けてきた小・中・高等学校や大学までの体験や記憶、親になってからの子育てやPTA活動など、保護者としての経験がベースとなっています。それらの経験や知識も大切ですが、今日の教育のあり様は、私たちがかつて経験してきた時代とは大きく変容しています。今日の長野県や日本の、また、世界の教育はどうなっているのか、また、これからの時代の新しい教育のあり方はどうなっていくのか、本日のフォーラムがそうした認識を深める機会となれば主催者として幸いに存じます。

結びに、本日のフォーラムが参加いただいた皆さまとオンライン配信をご覧いただいております皆さま、また後日、村のケーブルテレビをご覧いただく村の皆さまにとって有意義な時間となりますよう期待申し上げ、教育委員会のご挨拶とさせていただきます。

3 村長あいさつ

色々それぞれのお仕事のお忙しい中、このフォーラムに大変多くの方にご出席をいただきまして、当委員会の皆様中心に、そして現場で働く先生方や保育士の皆様、そして地域の皆さんとか、本当に多くの男性の方、また女性の方、ご参加いただきましてありがとうございます。なかなかこういった多くの皆さんが一堂に会して話し合いいただくというのは大変貴重であります。

やはり教育というのはすごく大事であります。これからは、離れていく子どもたちが、どういう教育を受けて、どういう気持ちの子どもたちになっていくかということは本当に我々にとって大切なものだと思います。

令和6年度事業といたしまして、特に今年スタートするんですけれども、どのように子どもたちを育てていくかを考えるということで、こども家庭センターを作らせていただきました。そして、今年オーストラリアへの語学研修もあります。ぜひ生かしていただきたいと思います。この阿智村の教育を考える全村フォーラムは、基調講演をいただいて、そして分散会で討論していただくという大変貴重な時間になっておりますので、よろしくお願いします。

4 基調講演

松澤専門主事

初めに、信州大学学術研究院教育学系教授 伏木久始先生です。先生は、県の教育委員を務められた経歴もあり、様々な市町村の学校のあり方検討委員の経験もあり、フィンランドなど海外の教育政策にも精通しておられます。阿智村学校のあり方検討委員会では副委員長を務めていただいております。本日は、「これからの地域社会における学校の役割」と題しての基調講演です。伏木先生、よろしくお願いします。

(1)「これからの地域社会における学校の役割」

信州大学学術研究院・教育学系教授 伏木 久始 先生

① 少子・人口減少社会の進行にともなう学校統廃合は教育環境をどう変えるのか

- ア) 日本の将来人口動向
- イ) 長野県の区分別人口推計
- ウ) 義務標準法に基づく小中学校の教職員定数
- エ) 学校規模が小さいことによる課題(小学校)
- オ) 学校規模が小さいことによる課題(中学校)
- カ) 事例1) 大月小学校・中学校(高知県)
- キ) のびのびとした雰囲気の原因は？
- ク) 事例2) 長野県上水内郡信濃町
 - ケ) 信濃町が抱えていた学校の課題
 - コ) 閉校前の小学校 5 校／改築前の中学校
 - サ) 信濃小中学校:校舎一体型小中一貫校
 - シ) 参考) 信濃町が抱えていた学校の課題
 - ス) 4－5制の小中一貫カリキュラム
 - セ) 参考) 校舎一体型小中一貫教育の効果
 - ソ) 在籍児童・生徒数を増やすアイデア

② 日本の学校教育はどのように変わろうとしているか

- ア) 学校に求められる教育が変化している
- イ) 社会はどう変わるのか
- ウ) 教室の中にある多様性
- エ) 私たち大人が経験した時代とは異なる時代へ
- オ) 自律的に学ぶ单元内自由進度学習
- カ) 一人ひとりの個の追究力を育む必要性
- キ) 学校からなくなり始めているもの・・・

③ 未来に向けた地域社会と学校の間関係をどう考えるのか

- ア) 日本財団による国際比較調査結果より
- イ) 自身について
- ウ) 自身の社会のかかわりについて
- エ) 大人世代が努力すること
- オ) 人口減少社会における「学校」の問い直し
- カ) 阿智村の教育の「当事者」になる
- キ) 自己紹介

松澤専門主事

つづきまして、前飯田市教育長であり、現在は飯田駅前にある未来地図代表理事として全国のご活躍されています。本年度より、阿智村学校のあり方検討委員会副委員長であります。

本日は、アンケート調査結果を受けて、子ども達に求められる資質・能力について講演いただきます。代田先生、よろしくお願いします。

(2)「アンケート調査結果を受けて、子ども達に求められる資質・能力」

前飯田市教育長・未来地図代表理事 代田 昭久 先生

- ①これからの子ども達に育みたい資質・能力
- ②なぜ、教育のあり方を考えるのか？
- ③自己紹介
- ④教育改革の進め方 イマ.チャレ
- ⑤教育改革の進め方/子どもたちの意見を尊重する
- ⑥阿智中学生のアンケート結果より/学校生活
- ⑦これから育みたい資質・能力

未来を担う阿智村の子ども ～育みたい力と課題～

- ① 基礎的な知識や技能（基礎学力）
- ② 外国語・英語を活用していく力（語学力）
- ③ P C やテクノロジーを活用する力（I T リテラシー）
- ④ 経験や知識をもとに、自分で考える力（思考力）
- ⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力（判断力）
- ⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力（表現力）
- ⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力（主体性※・好奇心）
- ⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力（目標設定・実行力）
- ⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力（忍耐力）
- ⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力（多様性※）
- ⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力（協調性※）
- ⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力（エージェンシー）

5 分散会

松澤専門主事

これより分散会に移ります。

分散会は、お座りのグループごとに意見交換していただきます。先ほど貼ったグループの模造紙を見たり、付箋に書いてあるお考えを読み合ったりしながら、グループごとに3つ育みたい力を意見集約してください。グループ内のあり方検討委員が進行役になって分散会を進めてください。分散会の終わりを15時45分としますので、時間を見ながら進めてください。よろしくお願いします。

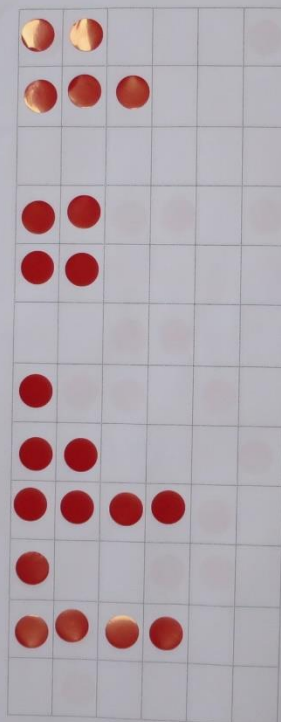
分散会記録

未来を担う阿智村の子ども ～育みたい力と課題～

○育みたい力を3つ選んでください

A グループ

- ① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
- ② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
- ③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
- ④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
- ⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
- ⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
- ⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
- ⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
- ⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
- ⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
- ⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
- ⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)



① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)

① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)

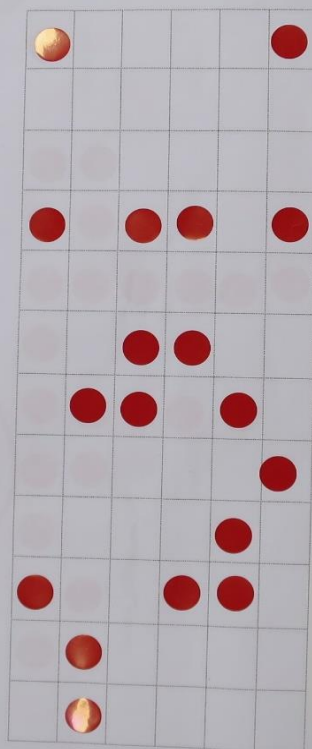
① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)

未来を担う阿智村の子ども ～育みたい力と課題～

○育みたい力を3つ選んでください

B グループ

- ① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
- ② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
- ③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
- ④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
- ⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
- ⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
- ⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
- ⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
- ⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
- ⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
- ⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
- ⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)



① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)

① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)

① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現に向けて行動できる力(エージェンシー)

○育みたい力を3つ選んでください

Cグループ

-

[illegible]

自分と他人の
自分と他人

○育みたい力を3つ選んでください

D グループ

- | | | | | |
|---|---|---|---|--|
|  |  | | | |
|  |  |  | | |
|  |  | | | |
|  |  |  | | |
|  |  |  |  | |
|  | | | | |
| | | | | |
|  |  |  | | |
|  |  | | | |
|  | | | | |
|  | | | | |
|  |  | | | |

[illegible]

② コミュニケーション

(45)

・この世の体験
人々からかり
自分から自分へ
さめ得にまき

計画に
考へて
行動の
タマ!

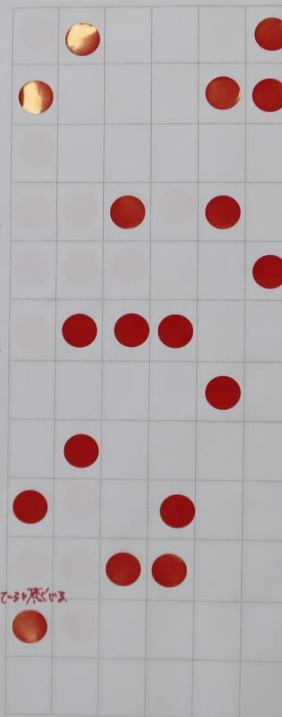
・而つても大事な
経験かも大事な...

未来を担う阿智村の子ども ～育みたい力と課題～

○育みたい力を3つ選んでください

グループ

- ① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
- ② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
- ③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
- ④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
- ⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
- ⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
- ⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
- ⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
- ⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
- ⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
- ⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
- ⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)



① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)

① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)

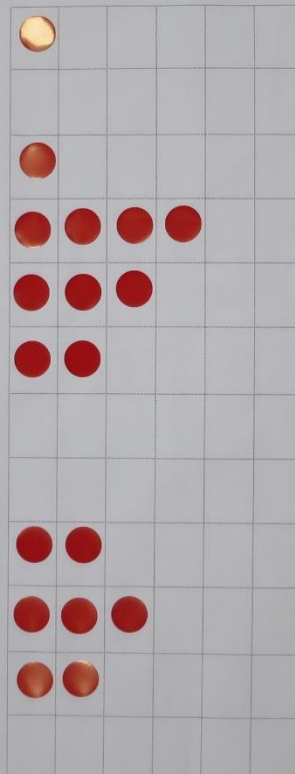
① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)

未来を担う阿智村の子ども ～育みたい力と課題～

○育みたい力を3つ選んでください

H グループ

- ① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
- ② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
- ③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
- ④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
- ⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
- ⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
- ⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
- ⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
- ⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
- ⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
- ⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
- ⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)



① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)

① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)

① 基礎的な知識や技能(基礎学力)
② 外国語・英語を活用していく力(語学力)
③ PCやテクノロジーを活用する力(ITリテラシー)
④ 経験や知識をもとに、自分で考える力(思考力)
⑤ 自分で適切に選んだり、決めたりする力(判断力)
⑥ 自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力(表現力)
⑦ 興味のあることに意欲的に挑戦していく力(主体性・好奇心)
⑧ 目標に向かって計画を立て実行していく力(目標設定・実行力)
⑨ 困難や逆境があっても努力を続けていく力(忍耐力)
⑩ 意見が違ってもお互いを認め合う力(多様性)
⑪ 周りの人たちと協力して課題を解決する力(協調性)
⑫ より良い社会の実現にむけて行動できる力(エージェンシー)

6 まとめ

(1) A 委員

Dグループには2人の中学生が来てくれていますので、中学生にいっぱい考えを聞きながら進めました。選んだ4つですが、1つ目は②番、外国語、英語ですね。これについては、日本の中だけじゃなくて、いろんな国の人としっかりコミュニケーションを取っていくために欠かせないんじゃないか、そんな考え方です。

2つ目は、4番と5番をまとめて⑤です。例えば、村でのふるさとの体験だとか、人との関わりだとか、そういうことが基本になって自分をつくっていく。それから、自分で考えて、誰かのやったことや言ったことではなくて、自分で考えて納得して生きていく力をつけていってほしいなということです。

そして3つ目ですが、⑧番です。目標に向かって実行していく力。何を計画しても、何を考えても、どんな意見があっても、行動しなければ何も始まらないというところで⑧を選びました。

さらに、ここには出てこないんですが、中学生の2人は、自分たちは選ばなかったんだけど、他の先輩方が言っていた忍耐力っていうのも、言われてみればやっぱり自分にとって大事などうか、あるいは自分もやっぱり選ばなかったけど判断力って大事なんだと、他の方の意見を聞いて思ったということをおっしゃいました。

(2) B 委員

Cグループは、5番、7番、これは外せないだろうということです。やっぱり5番、自己決定できるように、これが何よりも大事なとなりました。言い訳をしまったり、言われたりやらされるのではなくて、やっぱりこれから生きていく上で自己決定をしていけること。今、世の中でも自分で決められない、だから前に進めない、そういったことがあります。やっぱりこれからは、中学生、あの子どもたち、ぜひそこに、興味がある、自分が好きなことを見つけてそれをやり続ける。そうした時に、やっぱり仲間や世界が、世の中で自分の生きる道が見えてくる。大事にしたいです。

もう1個なんですけど、さっきのDグループは8番なんですけど。色々考えて、うちは11番です。なぜ11番かというと、やっぱり集団で生きていく、人の中で生きていく時、自分の意見や自分の考えを通す時に、相手意識であるとかを大事にしていく。そのために6番の表現力であるとか、10番の多様性や認め合いが必要であるということです。8番や7番とかで、人と人との関わり、どう生きていくのかっていうことを大事に考えていきたいという意見でした。

(3) 松澤専門主事

2つのグループの発表をお聞きすることができました。

時間の関係もありますので、その他のグループの模造紙は、机の上に置いたままにしておいていただき、フォーラム終了後に自由に見て共有していただきます。最後に代田先生、まとめの方をお願いいたします。

(4) 代田副委員長

はい。どうも皆さん、ありがとうございました。分散会の前にお伝えしましたが、大事なこと

は全体的にこのことを考えることだと思います。その中に中学生が入ってたことは、とても素晴らしいと思います。今日参加した中学生ありがとうございました。最後、まとめじゃないんですけども、伏木先生の資料を出していただいて、16 ページをご覧ください。「自分の社会の関わりについて」、真ん中ですね、自分の行動で国や社会を変えられると思っているかです。自分の行動で国や社会を変えられる、日本は4分の1、インドが8割、先進諸国の中で半分以下はたった日本だけなんですけど、どうしてこういう差が起これると思いますか。それはですね、他の国はそういう力をつけようと思っているということなんです。

今のOECDでは、ラーニングコンパス、中心概念として エージェンシーという言葉が目指す教育の根幹に置いてます。エージェンシーという言葉は、よりよい社会、より良い者になるために変革をする責任のある当事者っていう言い方をします。海外の子どもたちと話していると、本当にその差が歴然とすることがあります。自分の将来はと言った時に、自分の夢を語ること、社会に貢献したいという点で、圧倒的に差が出てきます。そんな意味で、これは日本が取り組まなきゃいけないくて、世界がこの潮流でやってるっていうのを、ぜひ皆さん少しこれは覚えておいていただきたいなと思います。エージェンシーという力をつけるために、今、世界各国の教育委員会、教育会、教育関係者が目指している力、学びのラーニングコンパスという指針です。そういう風にちょっと知識を得た上で、阿智村の子どもたちに指導してください。

1番下のエージェンシー、「より良い社会の実現に向けて行動できる力」って、これをつけたいという子どもたちがすごく多いというのは、子どもたちが、本当に直感的にですね、あっちも良くしたい、日本を良くしたい、世界を良くしたい。こういう思いの子どもたちがしっかりいるということは、すごい希望だなと。この影響力は家庭や大人なんです。より良い社会にしたいと思っている地域こそが、そういう力を育める。そんなデータが出ています。

ぜひ皆さんと一緒にこれからの学校のあり方を考える時に、これからもこの地域社会のより良いあり方を、私自身が圧倒的な当事者意識を持って取り組むことが、子どもたちがその背中を見て、こういう力が生まれるんじゃないかなと思っています。

まとめとなりましたが、今日はご清聴どうもありがとうございました。

7 岡庭委員長お礼の言葉

阿智村学校のあり方検討委員会の委員長を務めております岡庭潤でございます。本日は村教育委員会との共催で「阿智村の教育を考える全村フォーラム」を企画しましたところ、中学生を含む多くの村民の皆さまのご参加をいただいてフォーラムを開催できましたこと、先ずもってお礼申し上げます。

さて、本日のフォーラムは、来年3月に中間まとめとして提出する「これからの時代や社会にあって、村の子どもたちにどのような教育を提供するのか、どのような力を育むのか」という教育ビジョン作成の一環として開催しました。伏木久始・代田昭久両副委員長より基調講演をしていただきましたが、いずれもこれからの阿智村の教育の方向性を見据えた興味深い内容でありました。代田委員には、本日のテーマ「育みたい力と課題」に沿い、阿智中学校の生徒に実施した「アンケート調査結果を受けて、子どもたちに求められる資質・能力」と題し、諮問内容の三番目の内容「これからの子どもたちに育むべき資質や能力」について講演をいただきました。

後半は、分散会においてこの基調講演を基にした活発な意見交換がなされました。これら一連の活動の中から、諮問内容「これからの子どもたちに育むべき資質や能力」について、一つにはやはり学校は勉強をするところであり、基礎基本を主体とした個人の学力をしっかりと身に付けること、そのためにはわかりやすい授業が大切であることが浮き出されたと思います。また、二つ目として、多様な人間関係のある学校生活の中から、人と人との関わりや絆を深め、集団としての社会性や多様性を身に付けることの大切さが明確化されたと思います。今後の検討委員会の協議に繋いでいくことができました。

結びに、本日資料として配布された伏木委員の「新たな時代の学校と地域との協働」と題した月刊信濃教育掲載の論文について紹介させていただきます。この論文は、検討委員会の中間まとめである「教育ビジョン」作成に向けた実を示唆に富んだ論文と捉えています。特に、ラインボックスで囲まれた内容は「近い将来こんな光景が学校教育環境の日常になるのではないか」というモデルであり、阿智村の未来の学校の姿を彷彿させる夢のある内容となっています。村民の皆さまにも、ぜひこの論文を目に留めていただき、ご意見ご感想を寄せていただけたらと存じます。

それでは本日、公私ともにご多用のところ参加いただきました会場の皆さまにお礼申し上げますとともに、今後、このような講演会や説明会を通して学校のあり方についての村民の皆さまの関心や意識がいよいよ高まりますようお願い申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

8 終わりの言葉(教育次長)

以上をもちまして、阿智村の教育を考える全村フォーラムすべてを終了とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

教育長・委員長 署名／捺印